

## 児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2022年 2月 5日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」新千葉校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		適切な支援スペースを確保しています。	
	②	職員の配置数は適切である	○		適切な職員数を確保しています。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		お子様の特性に応じて環境を調整しています。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		快適に、安全に活動するための場をご用意しています。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		すべての職員が参画しています。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者様からの事業所評価を業務改善につなげています。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		当社 WEB サイト上で公開しています。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		外部評価については、現在は実施しておりませんが、必要に応じて検討します。
適切な支	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		定期的な研修の機会や学び合いの場を確保しています。	
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		お子様や保護者の願いに寄り添い、ストレングスの視点から支援計画を作成しています。	

援 の 提 供	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		社内共通のツールを使用しています。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		適切な選択と具体的な内容について明記するよう心がけています。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		個別支援計画に沿った支援プログラム提供に努めています。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		複数職員で計画・準備しています。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		日々の終礼の中で、指導員間の気づきを共有し次回のプログラム編成に活かしています。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		現在のご利用者様は個別の支援へのニーズが高く、個別活動を中心にした計画を作成しています。	お子さんの成長とニーズの変化に合わせて、1部小集団活動などを計画提案しています。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼の時間を確保し、打ち合わせしています。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終礼の時間を確保し、支援の振り返りについて全職員で共有しています。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		支援記録は漏れがないよう、相互確認しています。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的にモニタリングと計画の見直しを行っています。	

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		会議前に事業所内で情報共有を図っています。	
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		近隣の母子保健に係る関係機関に対し、当事業所の支援の特色についてお伝えしています。	
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		保護者様からご要望を頂いた折には、引き継ぎ資料の作成や会議参加など承ります。	今後も移行支援のニーズが生じた際には積極的に対応して参ります。
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		ご要望を頂いたケースで関係機関連携を図り、会議開催や資料送付等行っています。	今後も移行支援のニーズが生じた際には積極的に対応して参ります。
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		今後も継続し、支援の質の向上に努めます。	
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		ご利用者様からのニーズがあれば検討していきます。
	㉘	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		会議への参加要請を頂いた際には積極的に参加します。
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		日々の支援の中でフィードバックの時間を確保しています。	

	③①	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	○		相談、情報提供、助言の範囲で求められることを行っていきます。	
保護者への説明責任等	③②	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		丁寧な説明を心がけています。	
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		計画についてご説明し同意を得た上でサービス提供を行っています。	
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		日々の支援の中でフィードバックの時間を確保しています。	
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		ご利用者様からのニーズがあれば検討してまいります。	
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		支援後のフィードバックの際には必ず保護者様の気づきや思いをお伺いしています。	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月1回以上（ブログ）を中心に情報発信しています。	さらに保護者の方の目に留まるよう、内容の充実と周知の為の工夫を図ります。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	○		十分に注意し、管理運用しています。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		お子さんの特性を理解した上で意思の伝達が可能なツールを提案しています。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		地域の関係機関には積極的にご挨拶をさせていただいています。	
非常時等	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		各種マニュアルを策定し、必要に応じて掲示するなどして周知を図っています。	保護者様への周知という部分についてさらに工夫してまいります。

の 対 応	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期的に防災訓練を実施しています。	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		面談時にお子様の情報について確認させていただいています。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		原則、食事提供はないので指示書に基づく対応はありませんが、アレルギー等の情報も事前に把握した上で支援を行っています。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		職員間で共有しています。	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		定期的に研修を行っています。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		身体拘束マニュアルにて職員間で共有しています。保護者様にも虐待防止について説明した上で支援も行っていきます。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2022年 2月 5日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」新千葉校

家庭数（児童数）：6（6）回収数：6 回答率：100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	不明	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	6	0	0	0		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	5	1	0	0		
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6	0	0	0		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6	0	0	0		
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	6	0	0	0	●限られた時間の中で、エンジンがかかるのに時間がかかってしまうことがある。今後すぐ始められるようになるとうい。	→お子さんの特性をとらえながら、きらりに慣れ、安心して過ごせるよう努めていきます。
	⑥	児童発達支援計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6	0	0	0		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6	0	0	0		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	6	0	0	0	●毎回違う内容で工夫してもらえる。	→引き続き工夫を重ねていきます。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	0	2	3		→事業所の特性か上機会創出が難しい部分もあります。ニーズがあれば適宜検討します。
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	6	0	0	0		
	⑪	児童発達支援ガイドラインのねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	6	0	0	0		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	4	1	0	1		→ペアレントトレーニングという形式では実施しておりませんが、相談・情報提供・助言の範

								困でできることを行っていきます。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	6	0	0	0	●毎回フィードバックの時間があるためコミュニケーションがとりやすい。	→保護者様の方からも積極的にお子さんの様子についてお知らせくださり、有難いです。引き続き共通理解に努めていきます。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	5	1	0	0		
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	1	1	4		→保護者会等の開催は予定していません。保護者同士のつながりをサポートするための情報発信の工夫に努めます。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	6	0	0	0		
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	6	0	0	0		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	4	0	0	2		→コミュニケーション体制をさらにご利用者にとって便利で身近なものになるよう整備していきます。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	6	0	0	0		
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	3	1	0	2		→コロナウイルス感染拡大防止についてマニュアルや緊急事態宣言に係る事業所の対応等について情報発信をしています。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2	1	0	3		→避難訓練の実施の様子等、情報の周知を工夫していきます。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	6	0	0	0	●本人が通所を楽しみにしている。	→引き続き、お子さんにとって必要とされる場所になるようサービスの質の維持・向上に努めます。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	6	0	0	0	●本人に合わせたプログラムを提供してくれる。いろいろなことができるようになり嬉しい。	→引き続き保護者様にご満足いただけるようサービスの質の維持・向上に努めます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。